

平成 27 年 5 月 22 日

各 位

東京都品川区東品川四丁目 12 番 8 号
株 式 会 社 S J I
代表取締役会長兼社長 石濱 人樹
(JASDAQ: 2315)

問合せ先：
経営企画本部 副本部長 藤井 肇
TEL 03-5769-8200 (代表)

平成 27 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異および
営業外費用、特別損失の計上に関するお知らせ

平成27年 4 月 2 日に公表した平成27年 3 月期通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じました。
また、営業外費用、特別損失を計上することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期連結業績予想数値と実績値との差異 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成27年 4 月 2 日発表)	29,063	76	6	△718	△8 69
今回実績値 (B)	30,265	262	175	△2,932	△35 50
増減額 (B - A)	1,202	186	169	△2,214	
増減率 (%)	4.1%	244.7%	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成26年 3 月期)	26,276	△805	△1,722	△6,714	△81 30

注 : △は、損失を表しています。

2. 差異の理由

売上高につきましては、国内において、証券業界をはじめとする金融機関向けの開発案件が受注・売上ともに好調であり、前回の予想を上回り30,265百万円となりました。

営業利益につきましては、売上高の若干の増収に伴う増加と、想定していたよりも人員が減少しており、人件費が減少していることや、経費の節減により販売費および一般管理費が減少し、前回予想値を上回り262百万円となりました。

経常利益につきましては、営業利益が増加となった一方、営業外費用の増加が営業外収益の増加を上回ったため、前回予想を上回り175百万円となりました。

当期純利益につきましては、LNDTが保有するソフトウェアが市場ニーズに合わなくなり、販売が見込めなくなったことおよびタンククリーニング洗浄設備についても運用状況が悪化したため、運営を停止し、当該設備の減損処理を行い減損損失を計上したことにより、少数株主損失の増加はあったものの、前回予想

値を大幅に下回り、△2,932百万円となりました。

なお、平成27年4月21日付「持分法適用関連会社の異動を伴う株式譲渡の完了に関するお知らせ」のとおり、SUNNY IDEA INTERNATIONAL LIMITEDおよびBENEFIT POWER INC. への中訊軟件集団股份有限公司（以下、「SinoCom」といいます。）株式の譲渡について、147百万円の関係会社株式売却損を特別損失として平成27年3月期第4四半期に計上する見込みであることを開示しておりますが、譲渡手続きの一部遅延により計上時期を平成28年3月期第1四半期以降に変更いたしました。

また、特別損益の計上額もあらためて精査し、変更がある場合は速やかに開示いたします。

3. 営業外費用の計上について

営業外費用は、2,037百万円となりました。主な勘定科目は以下のとおりです。

持分法による投資損失が369百万円となっております。第3四半期の139百万円より増加している主な要因としては、SinoComが第4四半期から、持分法適用関連会社となったことおよび、SinoComの第4四半期決算の業績が悪化し、当社の持分が減少したことによるものです。また、貸倒引当金繰入額を717百万円計上しております。第3四半期の1,093百万円より減少しておりますが、これはLNDTの一部債権を回収したことによるものです。

4. 特別損失の計上について

連結会計における特別損失は、5,955百万円となりました。

主に、LNDTが保有するソフトウェアが市場ニーズに合わなくなり、販売が見込めなくなったことおよびタンククリーニング洗浄設備についても運用状況が悪化したため、運営を停止し、当該設備の減損処理を行い3,998百万円の減損損失を計上したことによるものです。

個別会計における特別損失は、13,781百万円となりました。主な勘定科目は以下のとおりです。

関係会社株式評価損： 9,829百万円

これは、S J A Pへの関係会社出資金9,831百万円をS J A Pの3月末の純資産額まで減損処理をしたためです。S J A Pは3月末でLNDTの債権の貸倒引当金繰入額を計上したことやS J I - H K株式を100%減損したことで純資産はほぼ0になりました。

貸倒引当金繰入額： 3,731百万円

これは、子会社に対する債権回収の可能性を検討した結果、以下の引当を計上するものです。

S J A P向け債権が1,200百万円、S J I - H K向け債権が1,700百万円、LNDT向け債権が831百万円であります。

以 上